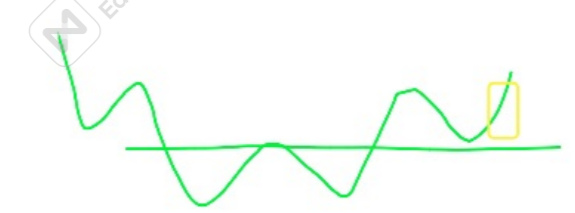


エントリーパターン1

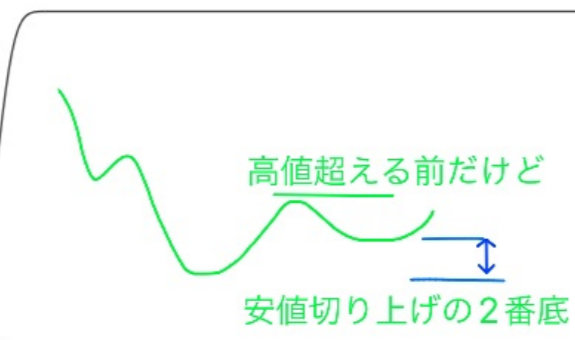
基本

自分は何を根拠に何を狙っているのか？

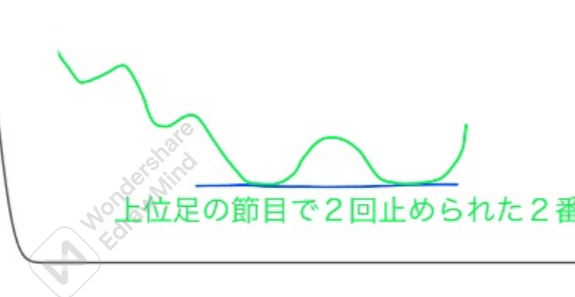
- 4時間足の優位性を根拠に
 - 4時間足の押し目買いを狙う
 - 4時間足のトレンドに乗るといこと
 - 4時間足のローソク1本2本伸びやすいところ
 - 10時間コースになる=エントリー後にチャートに張り付かなくてもいい
- 天井・底からエントリーするのではない、節目到達で決済するのではない
 - 真ん中は全部もらえ！！
 - それが15分ぐう崩れまで持つって意味
- トレンドフォローの極意は"頭と尻尾はくれてやれ"
 - エントリーは買うなら何かしらの足の高値超えから
 - 基本は1時間足の高値超えから
 - 結果損切りにあいにくく、結果伸びていきやすいところ
 - そこからすぐ伸びるということではない。
 - 下位足に落とすタイミング
 - 15分に落とすのは、1時間足のネックラインが出来てから
 - 1時間足がネックラインをつけた後に1時間が2番天井・底が見えてから。
 - 斜めからの抜けエントリーは難しい。
 - 3点目が効いてるとこの斜めのラインは効いてるんじゃと人は思う。2点結んだだけのラインを越えた時からのエントリーはリスクが上がる
 - 斜め抜けでエントリーする場合、水平でのエントリー位置を理解しておくことが必須
 - 斜めは必ず水平のリスクがある
 - 斜め抜けの場合、損切り位置が難しくなる
 - 斜めで押しをつけてくることもあるので、水平を基準に損切りしたら2回目エントリーを必ず頭に入れておく



上昇トレンド発生形
4時間足の優位性



4時間足の準優位性



4時間足の準優位性

4時間足の優位性

環境認識 4時間足がトレンドが出るor出ている

- 4時間足が明確に高値を超えたかどうかで判断
 - 押し目買いが入りやすい直撃エリア・時間経過十分という条件
- 節目という直撃エリアあたりをつけておいて
 - ローソク足単位で止まった ではない
 - 節目で5分足に落として止まりまくってると考えるのは間違い=5分足に落とさない
 - 4時間足が止まったと判断されるから4時間足の資金が入ってくる
- 1時間足でxxxが止まったことを確認する
 - 1時間足が4時間足の節目で2番底を作るケース=安値が直撃エリアで2度止まった、分類①
 - P 高値を超えたところ=ネックライン越え
 - #1時間足2番底目で15分足上昇トレンド発生からのエントリー
 - 1時間2番底目でも15分が下目線だと入れない
 - P 安値切り上げでもネックラインごえから入る
 - 1時間足が下目線から急に高値を超えて押し目買いとなるケース=分類②
 - P 基本は安値切り上げの2番底とみて、高値=ネックライン越えてエントリーをする
 - #1時間足トレードと見て15分2番底ネックラインからもエントリーができる。
- 1時間足の流れが変わったことを意識する
 - 4時間足で見ると下目線が出て、ローソク足実体では節目で止められていると判断できる
 - 4時間足での時間経過十分
 - P 1時間足の高値超えからのエントリー。ただ、これは逆からくるパターンと言われ、かなり損切り幅が広くエントリーに抵抗が大きい。
 - #1時間足2番底目で下目線になったら、15分の2番底ネックライン高値超えからエントリー
 - 1時間の戻り売りVS15分の2番底からのネックライン超えという形になりやすい
 - 15分で見ると
- あれ？もう1時間は上目線だぞという場合
 - 1時間足調整波からの再度上昇を捉えるので一番難しい気がする
 - P 1時間足で見える2番底+15分上昇トレンド発生
 - 15分で見ると
 - 1時間足が調整波の可能性があるので、15分のトレンド発生でエントリーして高値を超えない可能性も考えておく必要がある。

まとめ

トレンドフォローの基本が抜けて4時間足の優位性とか2番底ネックラインを追いかけようまくいかないことが多いです。まずはトレンドフォローってなんだったかっていうのを押さえてみてください。

いつ下位足に落とすのか？というのを自分の中で明確にしてください。

15分や節目に近いところでエントリーしたい気持ちはもちろんあります。だからそこから狙っていくのですが、それでもエントリーできなかった場合は1時間の高値超えから入るとするのが基本であり、王道になります。

このエントリーパターンの信頼性に関するソースやデータが欲しいという人がたまにいますが、その信頼あるデータを自分で作り、自分の自信に繋げていくのがトレーダーの仕事だと思っています。是非、この動画を参考にして自分の得意なエントリーパターンを見つけてくれたら嬉しいです。

次回は4時間足準優位性に関するエントリーパターンを予定しています。